

小国町立病院外来診療体制

平成30年11月1日現在

診療科	午前 午後	受付	診察	診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	一診	山形大 鈴木(佑)5・19日 柳谷(稜)12・26日	伊藤副院長	伊藤副院長	伊藤副院長	伊藤副院長
				二診	阿部院長	山形大 奥本(和)	阿部院長	阿部院長	
	午後	14:00-15:00	14:30-15:30		伊藤副院長				
小児科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 鈴木(康)5日 粟野(裕)12日 高橋(辰)19日 松木(惇)26日	山形大 齋藤(あ)6・27日 藤井(隆)13・20日	山形大 松木(惇)7・14日 小林(信)21・28日	山形大 目黒(亨) 1・8・29日 森(福)15・22日	山形大 橋本(多)2・16日 中村(和)9・30日
				午後	13:30-14:30	(14:30まで待合室 にお越しください)			
整形外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00			公立置賜総合 根本(信)6・20日 松木(宏)13・27日		公立置賜総合 長谷川(浩) 1・15・29日 大楽(勝)8・22日	山形大 高野(満)2・16日
産婦人科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00						山形大 堀川(翔)2・16日 奥井(陽)9・30日
外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 蘆野(光)5・19日 柴田(健)12・26日				
				午後	13:30-15:00	14:00-15:30		櫻井 文明	櫻井 文明
眼科	午前	8:00-11:30	10:00-13:00			山形大 富樫(敬)			
耳鼻 いんこう科	午後	12:30-16:00	13:30-16:30 (16:00まで待合室 にお越しください)		山形大 寺田(小)		山形大 後藤(崇) 7・14・21日 野内(雄)28日		山形大 杉山(元)2・9日 成澤(健)16・30日

診療科	午前 午後	受付	診察	月	火	水	木	金	土	日祝
歯科 (予約制) ☎62-2513	午前	10:00-12:30	10:00-13:00	休診	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	休診
					新潟大 渡辺(真)6・20日 金丸(祥)13・27日	新潟大 片桐(渉)7・28日 佐久間(英) 14・21日	新潟大 長谷部(大) 8・29日 竹内(涼)15・22日			
	午後	14:00-18:00	14:00-18:30							

予防歯科や口腔外科の先生もおりますので、お口の中のこと全般的にご相談ください

※外来診療体制は変更になる場合がありますので、電話で問い合わせてください。

診療日変更等のお知らせ

小児科	11月2・30日(金) 午後休診(町の乳幼児健診のため)
歯科	飯田歯科医師 11月9日(金) 午後4時30分診療終了

冬期間は降雪などの交通事情により、大学病院等からの医師の到着が遅れる場合があります。ご迷惑をお掛けしますが、ご了承ください。



小国町立病院

〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの一丁目1番地

http://www.ogunibyoin.jp/ ☎.0238(61)1111 FAX.0238(61)1115

小国町立病院 検索 歯科直通 0238(62)2513

ほっと通信

小国町立病院

平成30年11月1日発行

第61号

発行：小国町立病院情報管理委員会

私たちは 地域の方々とともに歩み 医療を通して 安心のある地域づくりに貢献します

平成30年度 インフルエンザ予防接種

今年度のインフルエンザの予防接種は、11月1日(木)から開始します。

対象	接種回数	予約の有・無	診察室	料金(1回)	助成等
1~13歳未満 (小学6年生まで)	2回	予約制 ☎ 61-1111 予約受付 10/15(月)~	小児科	3,000円	町から1回につき2,000円の補助あり (対象者には個別通知) ※補助を受ける場合、 <u>予診票に押印</u> 必要
中学生					
高校生~65歳未満	1回	予約不要 (随時実施)	内科 または 外科	4,000円	町から1,500円の補助あり (対象者には個別通知)
65歳以上					

受付・持ち物等

- 小児科の予防接種の時間は13:15~14:00です。(14:00以降の受付は接種できない場合があります。)なお、実施当日、再来受付機で予約受付をしてください。
- 高校生以上のかたは、希望日の当日(内科の受付時間)に、通常の診察受付と同じ手順で、再来受付機で内科診察の受付後、総合受付のスタッフに「インフルエンザ予防接種希望」の旨をお申し出ください。受付順に接種を行います。
- 高校生以上のかたで、インフルエンザ予防接種のみを希望されるかたは、**火・水・木曜日の午後の外科外来**で優先的に接種できます。(受付時間は13:30-15:00です。)
- 町から補助を受けるかたは、町から配布された予診票をあらかじめ記載の上、持参してください。(中学生以下の予診票には押印が必要です。)
- 小児の場合は、母子手帳も持参してください。



インフルエンザの効果的な予防方法

主な感染経路は、

飛沫感染と接触感染です!

① 流行前のインフルエンザワクチン接種

感染しないわけではありませんが、重症化を防ぐことが期待できます。

② 外出後、食事の前は手を洗う

石鹸を使った手洗いはウイルス除去に有効です。アルコール製剤による手指衛生も効果的!



③ 適切な湿度を保つ

空気が乾燥すると気道粘膜の働きが低下するため、室内は湿度50~60%に!



④ 十分な休養とバランスの取れた食事



⑤ 人混みや繁華街への外出を控える

外出する場合は、マスクの着用をおすすめします。

【マスクの正しい装着方法】

- ✓ マスクの鼻に当たる折り曲げ部分(ノーズピース)をしっかり自分の顔の形に合わせる
- ✓ マスクの蛇腹をあごの部分まで伸ばしてしっかりと口を覆い、隙間を作らない
- ✓ マスクを捨てるときは、ゴムの部分を持つ



「医療の現場から」では、医師や看護師などの医療現場のスタッフから、医療に関する情報をお知らせします。

わたなべけん
内科の渡部賢医師から『心不全』に関するお話です。

その「息切れ」や「むくみ」、もしかしたら心不全の症状かもしれませぬ。

心不全ってどんな病気？

日本人の心不全による死亡者数は、ガンに次ぐ第2位であり、高齢化社会にともない今後も増加していくことが予想されています。ガンについては認知度が高く、その病気の怖さについてもよく知られていますが、心不全についてはいかがでしょうか。自分の具合が悪くときに、「ガンかもしれない」と心配になることはあるかもしれませんが、「心不全かもしれない」と思うことはあまりないのではないのでしょうか。



-内科-
渡部 賢 医師

心臓は、全身に血液を送り出すポンプの役割をしています。そのポンプの働きが落ちて、必要な血液を十分に送り出せなくなる状態を「心不全」といいます。心不全になると体に水がたまるという現象が起こります。足に水がたまれば「足のむくみ」となり、肺にたまれば「息切れ」となります。これらは初期の段階の心不全の症状ですが、さらに心不全が進行すると、安静にしているときでも呼吸が苦しくなり、緊急入院が必要な状態になってしまうこともあります。

初期の自覚症状



心不全になる原因はなんですか？

心不全の原因としては、①心臓に栄養を届ける血管がつまり心臓の筋肉が壊死することでポンプ機能が低下すること（心筋梗塞）、②心臓の中にある弁がうまく働かなくなる（弁膜症）、③心臓の筋肉自体がなんらかの原因で機能が低下すること（心筋症）、④脈の乱れによるもの（不整脈）、⑤高血圧が原因となるものなどがあり、それぞれの原因に合わせた心不全の治療を行っていくことになります。



心不全は重症になる前に、早く発見し早く治療することが重要です。少し前までできていたことが息切れしてできない、むくみがあるなどを「年のせい」と思わず、まずは病院を受診しましょう。当院の内科外来で、採血、心電図、胸部レントゲン、心臓エコー検査などにより心不全の検査を行うことができますので、内科外来にご相談ください。

私の仕事

病院では、医師を中心とした様々な専門職が1つのチームになり、医療を提供しています。医療現場の裏側を交えて、当院の職員の仕事を紹介します。



作業療法士
鈴木 光
(平成13年入職)

作業療法士としてどんな仕事をしていますか

私はリハビリ専門職の一つ、作業療法士として働いています。病院での作業療法は、骨折、関節リウマチ、脳血管障害、脊髄損傷、パーキンソン病などの主に筋肉や骨などの運動器や中枢神経などに障がいを持つ方を対象としています。

関節の動く範囲の拡大、筋力の強化、麻痺の改善などの身体機能の回復の他にも、脳梗塞などで障がいされた記憶や考える力などの認知機能の回復、病気や怪我などで落ち込んだ気持ちや生活の不安を解消しながら、作業療法(様々な作業や治療手技、訓練など)を活用し、自宅で生活を送れるように支援していくことが私の仕事です。

作業療法士になったきっかけを教えてください

家族が医療系の仕事についていたことと、高校生の時に新聞で大怪我をしたプロ野球選手がリハビリを経て復帰する特集を読んだことがきっかけです。工業高校だったため、一度は道を諦めて就職しましたが、夢をあきらめたくないと感じ、作業療法士になりました。

仕事のやりがいを教えてください

一番のやりがいは、患者さんの病気や怪我の回復に自分の力が少しでも役に立ったと実感した時です。他に、他職種と協力し合いながらみんなで患者さんの回復に力を注いだ時ですね。



リラックスしてリハビリしてもらうように話を大切にする。

今後の目標を教えてください

今までもこれからも同じですが、患者さんの状態を少しでも回復できるように、知識と技術の向上に努め、患者さんとそのご家族様に寄り添えるような作業療法士になることです。それが一番大切なことと信じています。

見逃しがちな消化器病を知る

～斎藤貴史先生講演会～

Topics
出来事・話題

山形大学医学部看護学科臨床看護学講座の斎藤貴史先生をお招きし、主に看護師を対象として『日常診療で知っておきたい消化器病のピットフォール』と題した講演会を10月19日(金)に行いました。

ピットフォールとは見逃してしまいがちな疾患のことを指し、消化器に関する診療を行っていくうえで、稀に起こりうる病状の具体的な事例紹介を交えた講演をいただきました。2カ月間、食道に刺さった魚の骨を内視鏡を使って取り除いた際の手術動画や、山菜や餅によって高齢患者の腸閉塞が引き起こされた事例についてCT画像を使って説明したほか、脂肪肝などに重大な病気が潜んでいる可能性など、日常での看護業務に役立つ新たな視点や考え方をご紹介いただきました。聴講した職員は、初めて目にする症例に驚きの声を上げたり、示された統計データにうなずいたりしていました。



働くことを学ぶ

～中学生キャリアスタートウィーク～

小国中学校のキャリアスタートウィーク(中学生職場体験学習)が、10月10日(水)から12日(金)まで行われました。これは、キャリア教育の一環として地域の事業所や店舗、社会福祉施設等で3日間の職場体験学習を行うもので、今回は2年生5人が参加しました。実際に使われている放射線機器を使って撮影した画像を見たり、顕微鏡で検体のサンプルを観察したりしました。また、リハビリ体験、分包機を使っての調剤、温身の郷入所者さんとのふれあいなど、どれも初めての体験ばかりで3日間驚きの連続でしたが、進路選択の一助になる貴重な体験となったようです。

